



ごあいさつ

平素は、愛媛信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当金庫におきましては、地域の皆さまに当金庫の現況を知っていただき、「一番身近な金融機関」として安心してご利用いただけるよう、経営内容のお知らせ「ディスクロージャー2019」を作成いたしました。当金庫の経営理念や方針、財務内容、業務内容等についてまとめておりますので、是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。

平成30年度のわが国経済は、人口減少・少子高齢化の進展、低金利環境の長期化、デジタル化の加速など環境が大きく変化するなか、緩やかな回復基調が続きました。一方で、中国や欧米など海外経済の減速、米中貿易摩擦の激化、ブレグジットの迷走など海外における不安材料も多く、先行きを予測しづらい状況が続きました。愛媛県内におきましては、社会構造的な問題に加え、平成30年7月豪雨による甚大な被害発生の影響もあり、地域経済を担う中小企業等の業種や地域、規模によっては厳しい経営環境が続かなかで年度末を迎えました。

このような環境のなか、当金庫は経営理念の実現に向け、お客さま本位の活動を徹底し、継続的に取り組んでまいりました。特に、当金庫の本業である中小企業等への金融支援につきましては、安定的な資金供給はもとより、創業、商品開発や販路開拓、マッチング、経営改善計画の策定支援など、お客さまの目標達成や経営課題の解決に向けて、信用金庫業界の「つなぐ力」も活用しながらコンサルティング機能の発揮と実効性の向上に努めました。また、平成30年7月豪雨の発生を受け、被災された方々の事業の復旧や生活の再建に向けて、金融面での対応に注力するとともに、物資の支援、職員のボランティアによる瓦礫の撤去や清掃など、地域の復旧・復興に向けた活動にも積極的に取り組みました。

一方、業務執行の前提であるコンプライアンスの徹底に継続的に取り組むとともに、顧客保護管理態勢や統合的リスク管理態勢の整備・充実のための各種施策を実践し、ガバナンスの強化と経営体力の一層の強化に努めました。その結果、平成30年度におきましても、引き続き安定した利益を計上することができました。これもひとえに、地域の皆さまのご支援によるものであり、深く感謝申し上げます。

当金庫は、引き続き、「相互扶助・共存共栄」を基本理念とする信用金庫の強みである「協同組織性」「地域性」「中小企業専門性」の3つの特性と「つなぐ力」、当金庫独自の金融サービスやコンサルティング機能等を最大限に発揮しながら、地域の皆さまの「自助」の支援に全力を尽くしてまいります。

今後とも変わらぬお引き立てとご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年7月

理事長 **弓山慎也**



本店

当金庫の概要

設立	昭和26年1月27日
本店所在地	〒790-0002 愛媛県松山市二番町4丁目2番地11 TEL.089-946-1111(代)
出資金	1,631百万円
店舗数	54店舗 店舗外キャッシュコーナー102カ所
会員数	43,097人
預金	624,317百万円
貸出金	305,040百万円

(平成31年3月末日現在)